

アフターサービスについてのお願い

製品名 trad TCL-005 / TCL-005H
 充電式 ディスクグラインダー
 商品番号 819705 / 819715

1) 機械の性能・品質または取扱などについてのお問い合わせは、ご購入いただきました販売店または弊社までご連絡ください。

2) 修理に必要な純正部品は、本体各部の名称の図に記載された部品名をお確かめになり、ご要求願います。

①ご要求の経路につきましては、

お客様 → ご購入いただきました販売店 → 弊社

②お届けの経路につきましては、

弊社 → ご購入いただきました販売店 → お客様

※弊社とお客様との直接販売は致しかねますので、ご了承ください。

3) 修理及び修理のお見積のご依頼は、

①ご要求の経路につきましては、

お客様 → ご購入いただきました販売店 → 弊社

②修理完了後のお届け及び修理見積のご返事は、

弊社 → ご購入いただきました販売店 → お客様

※弊社とお客様との直接決済は致しかねますので、ご了承ください。

株式会社三共コーポレーション 本社物流センター
 〒639-2127 奈良県葛城市新町258番地1
 品質管理室 フリーコール：0800-500-2457 FAX：0745-62-1777
 受付時間 午前 9:00～午後 5:00 (土日祝日と弊社休日を除く)

本社 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4丁目6番6号
 TEL：06-6252-1712 FAX：06-6251-4693

三木営業所 〒673-0402 兵庫県三木市加佐234番地1
 TEL：0794-83-1661 FAX：0794-83-1665

東京営業所 〒121-0824 東京都足立区西伊興4丁目10番24号
 TEL：03-3857-0211 FAX：03-3857-0215

福岡営業所 〒812-0068 福岡県福岡市東区社領2丁目9番22号
 TEL：092-622-4961 FAX：092-622-4965



trad®

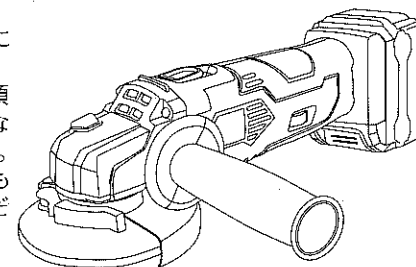
CL
series **14.4V**
Li-ion

充電式 ディスクグラインダー
 TCL-005 / TCL-005H

取扱説明書

この度は、trad 商品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読み頂き、本機の性能を充分にご理解のうえで、適切な取扱と保守をして頂きますようお願い致します。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、参照できるようにしてください。



TCL-005H 充電式 ディスクグラインダー本体のみお買い上げ頂きましたお客様へ

バッテリーパック TCL-14Bと充電器 TCL-14Cは別売です。本品ご購入店にてお買い求めください。

仕様

■ 本体 (TCL-005H)		■ 充電器 (TCL-14C)	
モーター電圧	DC14.4V	電圧	AC100V
無負荷回転数	5,000~9,000回転/分	周波数	50/60Hz
速度調整ダイヤル	6段階	入力容量	60VA
砥石サイズ	外径100 x 内径15 mm	出力電圧	DC16.8V
本体質量	約1.2kg (バッテリーパック含む)	出力電流	1.5A
■ バッテリー (TCL-14B)		充電時間	約60分
容量	1.5Ah	コード長さ	約1.8m

※充電時間はバッテリーの残量、周囲温度等で異なります。

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

また、写真と商品が異なることがありますので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、使用説明に従って使用してください。ここに示した注意事項は、「危険」「警告」「注意」に区分しています。

⚠ 危険：誤った取り扱いをした時に使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容

⚠ 警告：誤った取り扱いをした時に使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

⚠ 注意：誤った取り扱いをした時に使用者が傷害を負う可能性が想定されるまたは物的損害のみの発生が想定される内容

なお、「注意」とした事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 危険

- 指定のバッテリーパック以外は使用・充電しないでください。
- バッテリーパックや充電器や電動工具を火や水の中に入れてください。
- バッテリーパックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、上に物を置いたり、分解・改造しないでください。
- バッテリーパックを釘袋や工具箱など金属片が接触するような場所に保管しないでください。
- バッテリーパックは火の側や直射日光下など高温となる場所で充電・使用・保管しないでください。

⚠ 警告 ①

- 作業中の服装について
 - ・ 軍手・手袋や袖口の開いた服装やアクセサリは可動部に巻き込まれる恐れがあり危険です。
 - ・ 作業環境に応じて保護メガネ、保護マスクを着用してください。作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。
 - ・ 足場の安全のために、スリッパ・草履等での作業はお止めください。
- 作業場やその周辺環境、状況について
 - ・ 電動工具は常温（5～35℃）でご使用ください。また水中や雨の中、湿った場所・濡れた場所では絶対に使用しないでください。
 - ・ 暗い所でのご使用はお止めください。照明は十分な明るさを取ってください。また、夜間の作業も十分に照明を取ってください。
 - ・ 可燃性の液体やガス等のある所でのご使用は、避けてください。思わぬ事故につながる危険があります。
 - ・ 作業する前に配線や埋設物などがないことを確認してください。電動工具が触れ、思わぬ事故につながる危険があります。

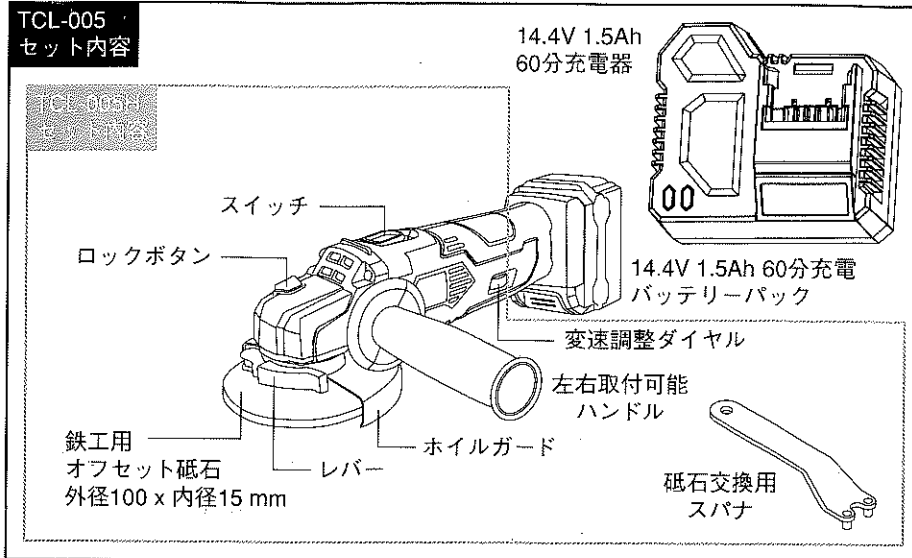
⚠ 警告 ②

- 充電について
 - ・ 充電は必ず家庭用AC100Vで、指定の充電器で充電してください。直流電流やエンジン発電機、変圧器では使用しないでください。発熱し火災の恐れがあり大変危険です。
 - ・ 充電器のコードは乱暴に扱わないでください。
 - ・ 充電中に焦げ臭かったり、煙が出るなどの不具合が発生した場合は、直ちに充電を中止し、コンセントからアダプターを抜いてください。ご購入店またはアフターサービスについてのお願いの連絡先にご相談ください。
- 無理なご使用、能力を超えたご使用は避けてください。
 - ・ モーター保護のため、バッテリーパックが2パックを超える連続作業は避けてください。本体が冷めてから作業を再開してください。
 - ・ 連続使用の場合、発熱により温度が上昇します。続けて使用すると事故や故障の原因となります。本体が熱くなったらしばらく休ませ、冷めてからご使用ください。
 - ・ 電動工具の本来の目的に合わない接続/兼用は、電動工具の大小に関わらず、作業には使用しないでください。
 - ・ 電動工具の能力に合ったパワーで作業を行ってください。
 - ・ 指定された用途の目的以外のご使用は避けてください。
- 先端工具を交換する場合
 - ・ 危険ですので、バッテリーパックを本体から抜いてください。
 - ・ 先端工具が確実に取り付けられているかご確認の上、ご使用ください。
 - ・ 用途に合った先端工具を選定してください。
- 下記の場合は、電動工具のスイッチを切ってください。
 - ・ 使用していない時、部品を交換する時、その他危険が想定される場合。
- 慎重に注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用するに当たり、取扱方法、作業の仕方、周囲の環境や状況に十分注意して、慎重に作業を行ってください。
 - ・ 常識の判断を持って作業してください。
 - ・ 身体の疲れ等、思考力が低下している時は、作業をしないようにしてください。
- 思いつきや不意な始動は避けてください。
 - ・ 指をスイッチに掛けて運ぶと、誤作動の原因となり危険です。
- 作業後は、砥石や加工物は大変熱くなっています。ヤケドの恐れがありますので、手、肌を触れないようにしてください。
- 散らかったゴミの除去は、スイッチを切り、モーターが完全に止まっていることをご確認の上、行ってください。
- お子様を近づけないでください。
 - ・ 作業以外、電動工具、バッテリーパック、充電器には絶対に触れないでください。
 - ・ 作業以外、作業場へ近づけないようにしてください。

⚠ 注意

- 本機は、DIY用です
- 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、本体の変形・破損、部品の破損、取付状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか、正常に作動するか、十分に確認してからご使用ください。
 - ・損傷した電動工具やその他の部品交換や修理は、ご購入店またはアフターサービスについてのお願いの連絡先にご相談ください。
 - ・スイッチが故障している電動工具で、始動及び停止操作のできない時は、使用しないでください。
 - ・ネジ等のゆるみがないか確認し、ゆるんでいる箇所はよく締めてください。
- 作業場は、整理整頓をきちんと行ってください。
 - ・狭い場所、乱雑な場所でのご使用は事故の原因となります。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・足場の不安定な所や、無理な姿勢での作業は、思わぬ事故につながる恐れがあり危険です。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。特に脚立など足場の不安定な場所での作業はご注意ください。
 - ・高い所での作業の際は、下の人の安全を確認し、工具の落下等のないよう十分にご注意ください。
- 指定の付属品をご使用ください。
 - ・本取扱説明書に記載している付属品以外の物を使用すると、事故や故障の原因になる恐れがありますので、使用しないでください。
- 本機及びバッテリーパック・充電器は、落としたりぶつかけたりすると故障の原因になる上、バッテリーのショートによる発火や破裂を起こすことがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。誤って落したりぶつけた時は破損・変形が無いことをご確認ください。
- 電動工具の修理は、ご購入店またはアフターサービスについてのお願いの連絡先にご依頼ください。
 - ・作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら直ちに作業を中止し、修理に出してください。
 - ・本製品は、安全規格に適合していますので、改造や分解をしないでください。
 - ・修理の知識や技術のない方が修理すると、事故やケガの原因となります。絶対にお止めください。

本体各部の名称及び付属品



用途

- 金属の研削・バリ取りに
- 塗装落とし、サビ落とし、下地研磨に

先端パーツ選定の目安

作業用途または削材質	先端工具
金属(鉄材・鋳鉄・アルミなど)のバリ取り、溶断部の研削、サビ落としなど	鉄工用オフセット砥石(付属品) ※別売のオフセット砥石、フレキシブル砥石も可
塗装面の下地研磨、サビ/塗装落とし、木材の下地研磨、面取りなど	サンディングペーパーディスク、マジックディスク+サンディングペーパー
サビ/塗装落とし、下地研磨	カップワイヤーブラシ、ベベルワイヤーブラシ
薄鉄板・鉄パイプ・トタンなどの切断	金属用切断砥石
石材・コンクリートなどの切断	ダイヤモンドカッター、石材用切断砥石
刃物・超硬類の研磨	ダイヤモンドディスク

※本品は鉄工用オフセット砥石を付属しています。用途に合わせて、市販の先端パーツをお買い求めください。

充電についての注意事項

充電する前に、この「充電についての注意事項」すべてをよくお読みのうえ、使用説明に従って使用してください。ここに示した注意事項は、「警告」「注意」「注」に区分しています。

- ⚠ 警告：誤った取り扱いをした時に使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
- ⚠ 注意：誤った取り扱いをした時に使用者が傷害を負う可能性が想定されるまたは物的損害のみの発生が想定される内容
- △ 注：製品の取り扱いに関する重要な内容

なお、「注意」とした事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告

- 充電は必ず家庭用AC100Vで、指定の充電器で充電してください。直流電流やエンジン発電機、変圧器では使用しないでください。発熱し火災の恐れがあり大変危険です。
- 充電は常温（5～35℃）の風通しの良い場所で行ってください。また水中や雨の中、湿った場所・濡れた場所・ほこりの多い場所では絶対に使用しないでください。
- 可燃性の液体やガス等のある所でのご使用は、避けてください。思わぬ事故につながる危険があります。
- 損傷がある、変形しているバッテリーパックは使用しないでください。
- バッテリーパックや充電器に、損傷・衝撃を与えないでください。
- 充電中は充電器が熱くなりますのでご注意ください。また紙・布などで覆ったり、ダンボールや紙の上で充電しないでください。火災の恐れがあります。
- 充電器のコードは乱暴に扱わないでください。
- 充電器のコードをつかんで、コンセントから電源プラグを引き抜くことはお止めください。また、濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 充電中に焦げ臭かったり、煙が出るなどの不具合が発生した場合は、直ちに充電を中止し、コンセントからアダプターを抜いてください。ご購入店またはアフターサービスについてのお願いの連絡先にご相談ください。

注意

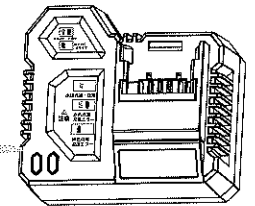
- 充電器のコードを熱や油、角の尖った場所に近づけたり、無理な力を与えたりしないでください。
- 使用しない場合または充電が完了した場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- バッテリーパックに切りくずやホコリがたまらないようにしてください。
- 使用直後の温度の高いバッテリーパックは続けて使用せず、バッテリーパックの温度が下がってから充電してください。
- 複数のバッテリーパックを続けて充電する場合は、充電器が冷めていることを確認してからご使用ください。

注

- 新しいバッテリーパックは充電されていません。充電をしてからご使用ください。
- 新しいバッテリーパックや、長期間使用していないバッテリーパックは自然放電し蓄電機能が低下し、十分に充電されないことがあります。2～5回の充放電によって能力が回復します。
- 充電前に必ずバッテリーパックと充電器の端子部の汚れを乾いた布で拭き落としてから、充電を行ってください。
- フル充電したバッテリーパックは、再充電しないでください。
- 冬季や寒冷地などで保管された10℃以下に冷えたバッテリーパックは、正常に充電できない場合があります。このような時は、バッテリーパックを常温の場所に置き、バッテリーパックの温度を常温に馴染ませてから、充電を行ってください。
- バッテリーパックの電池残量が少なくなるとモーターが停止します。速やかに充電してください。バッテリー残量が少ない状態で使用し続けると、充電できなくなる場合があります。
- 長期間（3ヶ月以上）バッテリーパックを使用しない時は、フル充電にしてから保管してください。バッテリー容量が少ない状態で長期間保管すると、充電できなくなる場合があります。その後もご使用にならない場合は、3ヶ月ごとにフル充電して保管してください。
- 充電時間は周囲の温度やバッテリーパックの状態によって長くなる場合があります。
- バッテリーパックは消耗品です。寿命は使用頻度・使用方法によって異なりますが、充電電約300回です。能力が通常の半分以下になった場合は、バッテリーパックの交換時期です。

充電器ランプについて

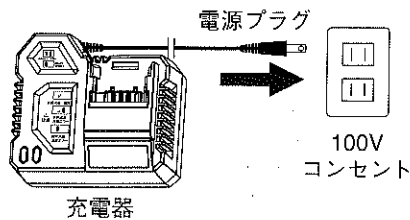
連続作業で同じバッテリーパックを連続充電していると、バッテリーパックの温度が上がり、エラーランプが点滅します。また、使用直後の温度の高いバッテリーパックは充電してもフル充電にならない場合があります。バッテリーパックの温度を十分に冷ましてから充電を再開してください。



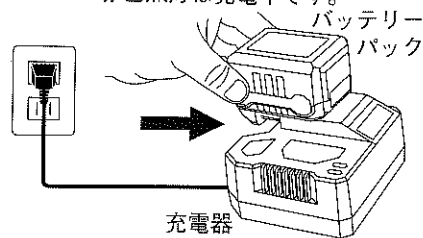
赤 点灯	充電中	充電している状態。
緑 点灯	充電器通電中 または充電完了	電源が入っているまたは充電が完了した状態。充電完了の場合、そのまま放置せずバッテリーを充電器から外し、充電器をコンセントから必ず抜いてください。
赤緑 点滅	故障	バッテリーパックが故障しています。新しいバッテリーパックと交換してください。
赤 点滅	充電エラー	バッテリーパックが適正にセットされていません。正しくセットし直してください。
緑 点滅	温度エラー	バッテリーパック温度が適正ではありません。適温にしてから充電し直してください。

充電方法

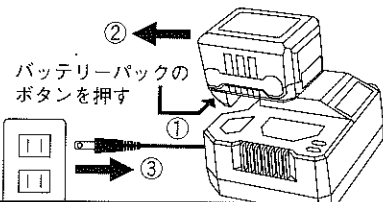
- ①** まず先に充電器の電源プラグをコンセントに差し込み、充電器のランプが緑色に点灯することを確認します。



- ②** 次にバッテリーパックを充電器に差し込み、充電器のランプが赤色に点灯することを確認します。
※赤色点灯は充電中です。



- ③** 充電が完了すると緑色ランプに点灯します。①バッテリーパックのボタンを押しながら、②充電器から抜き取り、③電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

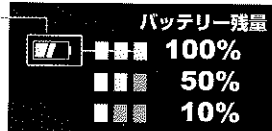


- ※バッテリーパックは常温で充電してください。
※連続使用した高温のバッテリーパックを充電することはできません。
※複数のバッテリーパックを連続して充電しないでください。充電器の温度が下がってから充電してください。
※バッテリーパックを充電器に差し込んだ時、充電器ランプが赤色に点灯せず緑色点灯の場合、バッテリーパックがフル充電になっている可能性があります。

バッテリーパックについて

バッテリーパック残量表示方法

バッテリー残量ボタン



右図のバッテリー残量ボタンを押すと残量に応じてランプが点灯し、バッテリーパックの残量を表示します。残量が10%になったら、速やかに充電を行ってください。

※残量10%以下の場合、ボタンを押すと赤色ランプが点滅します。この場合は続けて使用せず、必ず充電を行ってください。使用し続けると、充電できなくなる場合があります。

バッテリーパックを長持ちさせるために

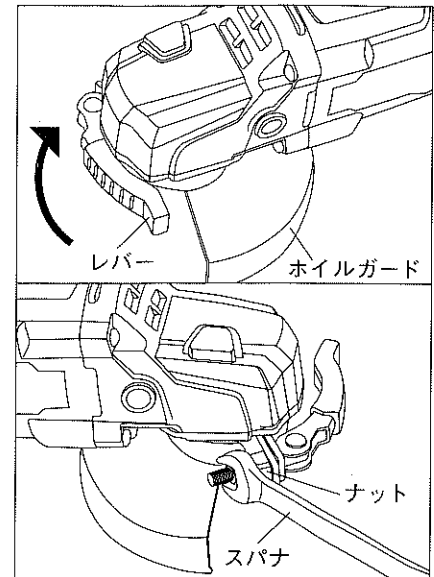
- フル充電したバッテリーパックを再充電しないでください。
- 電動工具の使用や充電は常温(5~35℃)で行ってください。また水中や雨の中、湿った場所・濡れた場所では絶対に使用しないでください。
- 使用直後の高温のバッテリーパックや冬季や寒冷地などで保管された低温のバッテリーパックを充電しないでください。

ホイルガードの調整方法

⚠ 注意

- ホイルガードを調整する際は、バッテリーパックを本体から抜き取ってください。
- ホイルガードは本体に取り付けられています。それぞれの作業に合わせてホイルガードの取付角度を調整してください。ホイルガードを取り外して作業することは絶対にお止めください。
- 定期的にホイルガードがしっかりと取り付けられているか、締め付け直してください。しっかり取り付けしていないと、回転が速いため跳ね返りが起き、大変危険です。

- ①レバーを矢印の方向に開くとホイルガードを取り外すことができます。
- ②作業内容に合わせてホイルガードの取付角度を調整してください。
- ③レバーの反対側にあるナットをお手持ちのスパナなどでしっかりと締め付けてください。

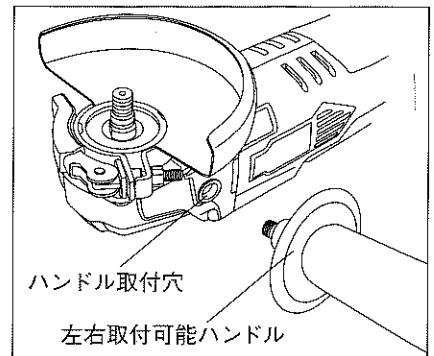


左右取付可能ハンドルの取付方法

⚠ 注意

- ハンドルを取り付ける際は、バッテリーパックを本体から抜き取ってください。
- ハンドルは左右どちらにも取り付けることが可能です。使い勝手や作業内容に応じて取り付けてください。
- ハンドルはしっかりと取り付けてください。
- ぐらつきがある場合はしっかりと締め直してください。

- ①左右取付可能ハンドルをハンドル取付穴に差し込み、止まるまでしっかりと回しぎって固定してください。



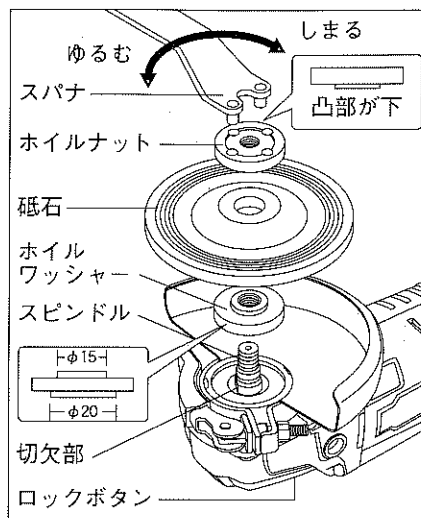
先端パーツ取付方法

⚠ 注意

- 砥石を取り付ける際は、バッテリーパックを本体から抜き取ってください。
- 本品には鉄工用オフセット砥石が付属しています。その他の先端パーツは用途に合ったもので、外径100mm、内径15mm、厚さ6mm以内のものをお選びください。
- オフセット砥石で切断しないでください。また、オフセット砥石の上面は使用できません。
- 作業直後は、砥石や加工面が摩擦で大変熱くなっていますので、十分に冷めてから砥石の交換を行ってください。
- 取り付けした後、砥石がしっかりと取り付けられているか、ガタつきがないことをご確認ください。

鉄工用オフセット砥石の取付方法

- ① スピンドルを上に向け、ホイルワッシャーの裏側の凹部をスピンドルの切欠部に合わせてホイルワッシャーを取り付けてください。
 - ② 鉄工用オフセット砥石をセットし、ホイルナットの凸部を砥石の穴に合わせてください。
 - ③ ロックボタンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナットをしっかり締め付けてください。
- ※ ロックボタンから手を離すと、元の位置に戻り、スピンドルの固定が解除されますが、必ずロックボタンを離れた時に元の位置に戻ることをご確認ください。
- ※ ホイルワッシャーとホイルナットの向きを間違えないよう、ご注意ください。



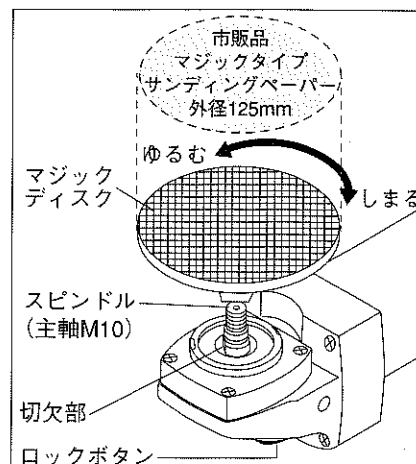
市販の先端パーツ取付方法

⚠ 注意

- 本品には鉄工用オフセット砥石のみ付属しています。用途に合わせて市販の先端パーツをお買い求めください。
- 先端パーツを取り付ける際は、バッテリーパックを本体から抜き取ってください。
- ホイルガードを使用する作業の場合、砥石のサイズは外径100mm、内径15mm、厚さ6mm以内のものをお選びください。マジックディスクやブラシはこの限りではありません。
- 作業直後は、砥石や加工面が摩擦で大変熱くなっていますので、十分に冷めてから砥石の交換を行ってください。
- 取り付けした後、砥石がしっかりと取り付けられているか、ガタつきがないことをご確認ください。
- ロックボタンを押して離れた時に確実に元の位置に戻ることをご確認ください。
- 作業内容に応じて、保護メガネやマスクを着用してください。
- それぞれ先端パーツの注意事項をよく理解した上で、作業を行ってください。

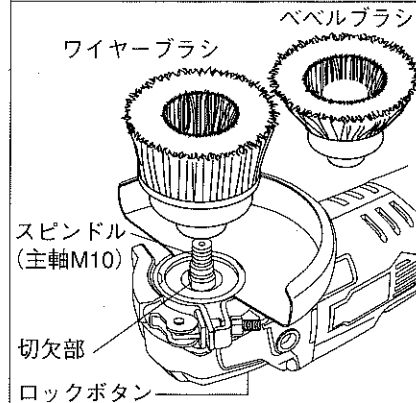
マジックディスクの取付方法

- ① マジックタイプのサンディングペーパー専用のマジックディスクです。
 - ② ホイルガード、ホイルワッシャー、ホイルナットを取り外してください。ロックボタンを押しながら、市販のマジックディスクをしっかり締め付けてください。
 - ③ 用途に応じた市販品のマジックタイプのサンディングペーパーをマジックディスクの中心に貼り付け、しっかりと押しつけてください。砥粒のはげたものやマジック面の効力がなくなったものは使用しないでください。
- ※ マジックディスクのみでは使用することができません。必ずサンディングペーパーを貼り付けてご使用ください。



ブラシの取付方法

- ① ワイヤーブラシを取り付ける前に、必ずサビや破損がないことを確認してください。異常があるとワイヤーが飛散してケガをする恐れがあります。
- ② ホイルワッシャー、ホイルナットを取り外してください。
- ③ 市販のワイヤーブラシ75mmまたはベベルブラシ85mm (スピンドル用M10)を取り付け、ロックボタンを押しながら、ブラシをしっかり締め付けてください。



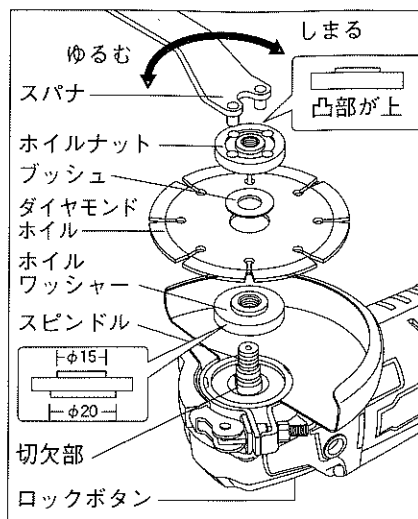
ダイヤモンドホイルの取付方法

- ①スピンドルを上に向け、ホイルワッシャーの裏側の凹部をスピンドルの切欠部に合わせてホイルワッシャーを取り付けてください。
- ②市販のダイヤモンドホイルとダイヤモンドホイルに付属されているブッシュをセットし、ホイルナットの凸部を上向きになるようにセットしてください。

※ダイヤモンドホイルは外径100mm、内径20mmのものをお選びください。20mmの内径の中に内径15mmのブッシュを入れてご使用ください。

※市販のダイヤモンドホイルには厚さ2.2mm以下の特殊薄型製品がありますが、本機に使用することはできません。但し、ダイヤモンドホイルに付属しているブッシュに段差のあるものは使用することができます。

- ③ロックボタンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナットをしっかり締め付けてください。
- ※ロックボタンから手を離すと、元の位置に戻り、スピンドルの固定が解除されますが、必ずロックボタンを離れた時に元の位置に戻ることを確認してください。
- ※ホイルワッシャーとホイルナットの向きを間違えないよう、ご注意ください。



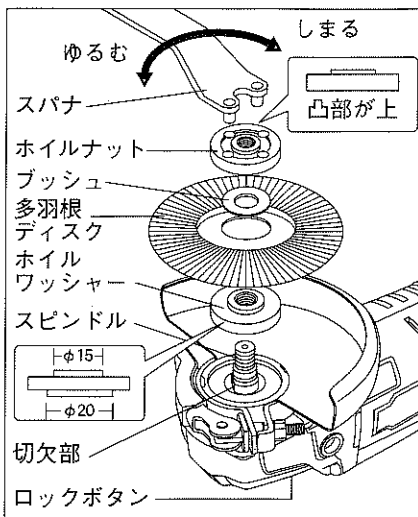
多羽根ディスクの取付方法

- ①スピンドルを上に向け、ホイルワッシャーの裏側の凹部をスピンドルの切欠部に合わせてホイルワッシャーを取り付けてください。
- ②市販の多羽根ディスクと多羽根ディスクに付属されているブッシュをセットし、ホイルナットの凸部を上向きになるようにセットしてください。

- ③ロックボタンを押してスピンドルを固定し、スパナで多羽根ディスクをしっかり締め付けてください。

※ロックボタンから手を離すと、元の位置に戻り、スピンドルの固定が解除されますが、必ずロックボタンを離れた時に元の位置に戻ることを確認してください。

※ホイルワッシャーとホイルナットの向きを間違えないよう、ご注意ください。



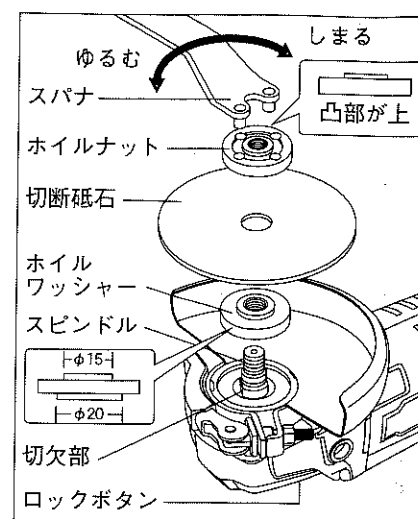
切断砥石の取付方法

- ①スピンドルを上に向け、ホイルワッシャーの裏側の凹部をスピンドルの切欠部に合わせてホイルワッシャーを取り付けてください。
- ②市販の切断砥石をセットし、ホイルナットの凸部を上向きになるようにセットしてください。

- ③ロックボタンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナットをしっかり締め付けてください。

※ロックボタンから手を離すと、元の位置に戻り、スピンドルの固定が解除されますが、必ずロックボタンを離れた時に元の位置に戻ることを確認してください。

※ホイルワッシャーとホイルナットの向きを間違えないよう、ご注意ください。



警告

- 切断砥石を使用する場合、法令により切断砥石専用ホイルガードの取り付けが義務付けられています。純正品を取り扱っていますので、アフターサービスについてのお願いの連絡先までご連絡いただき、お買い求めください。
- 切断砥石専用ホイルガードの取付方法は9ページの「ホイルガードの調整方法」をご参照ください。

作業についての注意事項

充電する前に、この「作業についての注意事項」すべてをよくお読みのうえ、使用説明に従って使用してください。ここに示した注意事項は、「警告」「注意」に区分しています。

- ⚠ 警告：誤った取り扱いをした時に使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
- ⚠ 注意：誤った取り扱いをした時に使用者が傷害を負う可能性が想定されるまたは物的損害のみの発生が想定される内容

なお、「注意」とした事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告

- 作業中、本体が振り回されることがあります。本体をしっかり保持して作業してください。
- 使用中は、本機に手や顔などを近づけないでください。
- 慎重に作業してください。疲れている時など思考力が低下している時に作業をすると、思いがけない事故につながる場合があります。不意に始動させたり、スイッチを指に掛けて運んだりしないでください。使用する際は、取扱方法、作業方法、周囲の環境や状況に十分注意してください。
- 作業時の服装、作業場の環境などについては、「安全上のご注意」をよく読み、必ずお守りください。
- 作業に取りかかる前に、加工材はクランプや方力等で動かないようにしっかりと固定してください。手で固定するより安全で、両手で電動工具を保持することができます。
- スイッチを離しても急には停止しません。完全に停止するまで不用意な行動はお止めください。
- ホイルガードを外してのご使用はお止めください。

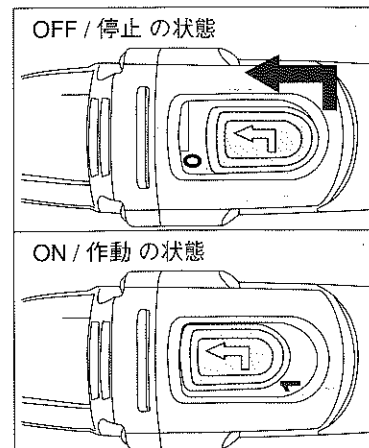
注意

- 本機は乾式の平面研磨用電動工具です。水や研磨液を使用しないでください。
- 先端工具が確実に取り付けられているかご確認の上、ご使用ください。
- 作業後は、先端パーツや加工物が大変熱くなっています。ヤケドの恐れがありますので、手や顔などを近づけないでください。
- 作業場や電動工具、バッテリーパック、充電器にはお子様を近づけないでください。
- 運転中に速度調整しないでください。
- 低速運転でも連続作業はモーターに負担がかかります。長時間のご使用は故障の原因となりますので、お止めください。
- 作業中は粉じんが飛散するので、必ず保護メガネを着用してください。
- 無理に押しつけて研磨をすると作業能率が落ち、加工面も均一にならず、本機の寿命も短くなります。
- 初めて使用する時や先端パーツを交換した時は、モーターを慣らすために2～3分以上の試運転が必要です。
- 使用中はロックボタンを押さないでください。

操作方法

スイッチについて

- 本体上部にあるスイッチを矢印のように右側にスライドさせてから前にスライドさせると作動し、元に戻すと停止します。
- ※本体にバッテリーパックを取り付ける前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
- ※スイッチを入れたまま、バッテリーパックを差し込むと事故の原因になります。ご注意ください。
- ※スイッチを入れる時は、先端パーツが加工材などに接触していないことを確認してください。
- ※スイッチを入れてから起動するまでに、若干の時間差がありますが、これは本体制御回路の給電時間です。異常や故障ではありません。



変速調整ダイヤルについて

- 変速調整ダイヤルで回転速度を調整することができます。加工材や作業内容に合った速度に調整してください。
- ダイヤルは1から6へ、または6から1へ廻すことが可能です。
- ※作業内容や先端パーツによって、下記通りにならない場合があります。

速度調整の目安						
作業内容	先端パーツ	1	2	3	4	5 6
石材などの切断	ダイヤモンドカッター					↔
金属の切断	鉄工用切断砥石					↔
金属の荒研削	オフセット砥石					↔
金属の研削	オフセット砥石					↔
木材・金属のサビ落とし	カップブラシ	↔				
木材・金属の塗装落とし	フレキシブル砥石	↔				
超硬類・刃物の研磨	ダイヤモンドディスク	↔				
木材・金属の下地研磨	サンディングペーパー	↔				

本品付属品で可能な作業

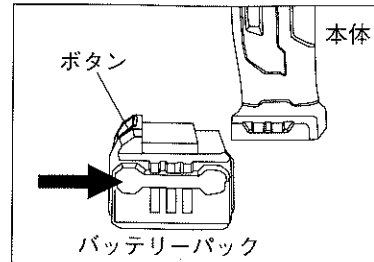
- ※その他の作業を行う場合は、用途に合った市販の先端パーツをお買い求めください。
- ※あくまでも目安です。作業前に必ずテスト材で試運転して、速度を調整してください。

リミッター機能について

本機にはリミッター機能が搭載されています。電流が流れ過ぎるとモーターの焼け付きを防ぐことができる安全装置のことです。リミッターが作動し本機が自動停止した場合、再度スイッチを入れ直すと再作動しますので、スイッチを引き直して作業を再開してください。

バッテリーパック取付・取外方法

バッテリーパックを矢印の方向にスライドさせて奥までしっかりと挿し込み取り付けてください。取り外しの際は、ボタンを押しながら逆方向にスライドさせてください。



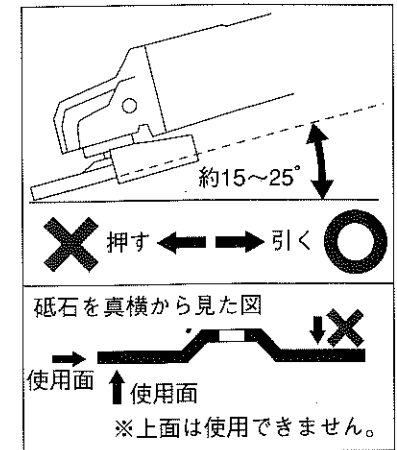
LEDランプについて

ランプはスイッチ連動式です。スイッチを入れると自動点灯し、切ると消灯します。
※LEDライトをのぞき込んで、直接LEDライトの光を目に当てないでください。連続して目に当たると目を痛める原因になります。

作業方法

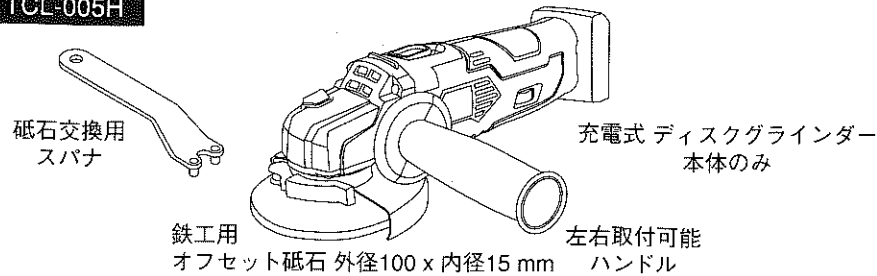
鉄工用オフセット砥石の研削作業

- 鉄工用オフセット砥石は、金属のバリ取り、溶断部の研削、サビ落としなどの作業に適しています。
 - スイッチを入れる時は、砥石が加工材に接触していないことを確認してください。
 - 異常がないか、また、速度を確認するために必ず試運転を行ってください。
 - スイッチを入れ、モーターの回転が十分に上がってから、砥石を加工材に軽くあてて研削してください。
 - 本機は加工材に対して15~25°の傾斜を保ち研削してください。
 - 回しながらゆっくりと引く方向に削ってご使用ください。押す方向に使用すると加工材にくい込むことがあり、加工材を傷つけます。
- ※力を入れ加工材に押し付けて使用すると作業効率が落ち、加工面も均一にならず、砥石の破損や本機の故障の原因となります。特に回転が落ちて押し付けると大変危険です。また機械の寿命も短くなります。
- ※スイッチを離しても急には停止しません。完全に停止するまで不用意な行動はお止めください。回転が止まらないうちに置くことは危険です。



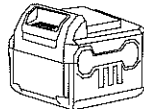
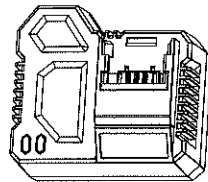
別売製品の紹介

TCL-005H



TCL-14C

14.4V 1.5Ah
60分充電器



14.4V 1.5Ah 60分充電
バッテリーパック

TCL-14B

お手入れ・保管について

- 電動工具は必ずお手入れをしてください。
本機は水洗いできません。使用後は油污れなどを乾いた布などで拭き取ってください。特に汚れがひどい場合は、石鹼水を少量含ませた布で拭き取ってください。スピンドルやバッテリーパックの端子部などにも細かなゴミが入ります。こまめに掃除をしてください。
- リチウムイオンバッテリーの性質上、高温で保管すると劣化が進みますので、なるべく冷暗所で保管していただくことをおすすめします。
バッテリーパックには化学物質が入っています。直射日光の当たる場所や高温・高湿、急激に温度変化する場所での保管は、寿命が短くなるだけでなく液漏れや充電中の発煙の原因にもなります。ご注意ください。
- バッテリーパックは金属片などと一緒には保管しないでください。ショートして発熱、発火することがあります。
- バッテリーパックを長期間(3ヶ月以上)使用しない時は、フル充電してから保管してください。バッテリー容量が少ない状態で長期間保管すると、充電できなくなる場合があります。
- お子様の手の届く場所、または落下の恐れがある場所には保管しないでください。
※不要となったバッテリーパックは環境保護のため、一般ゴミと一緒に捨てないでください。リチウムイオン電池はリサイクル可能な資源です。ご購入店または最寄りのリサイクル店までお持ちください。
※故障・修理の場合は、お手数ですがご購入店またはアフターサービスについてのお願いの連絡先にご相談ください。

故障かな?と思ったら・・・

状況	原因	対処方法
充電できない	バッテリーパック 温度が高い	室温25℃以下の風通しの良い場所に置き、温度が十分に下がってから再度充電を行ってください。
	バッテリーパック 温度が低い	常温の場所に置き、バッテリーパックの温度を常温に馴染ませてから再度充電を行ってください。
	バッテリーパック 故障	充電器ランプの赤と緑が両方点滅している時は、バッテリーパックが故障しています。交換してください。
作動しない	バッテリー残量 不足	速やかにバッテリーパックを充電してください。
	バッテリーパック 温度が高い	室温25℃以下の風通しの良い場所に置き、温度が十分に下がってから作業を行ってください。
	バッテリーパック 温度が低い	常温の場所に置き、バッテリーパックの温度を常温に馴染ませてから作業を行ってください。